

製品名: ADAMTS-12 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06596**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ADAMTS12
別名	ADAMTS12; A disintegrin and metalloproteinase with thrombospondin motifs 12; ADAM-TS 12; ADAM-TS12; ADAMTS-12
遺伝子 ID	81792.0
SwissProt ID	P58397
免疫原	ADAMTS-12 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 1100-1180

背景

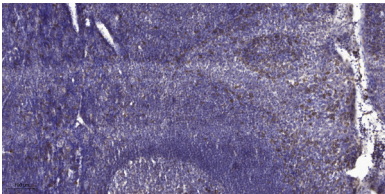
この遺伝子は、ADAMTS（トロンボスポンジンモチーフを有するディスインテグリンおよびメタロプロテアーゼ）タンパク質ファミ

リーのメンバーをコードします。このファミリーのメンバーは、プロペプチド領域、メタロプロテアーゼドメイン、ディスインテグリン様ドメイン、およびトロンボスポンジン 1 型 (TS-1) モチーフなど、複数の異なるタンパク質モジュールを共有しています。このファミリーの各メンバーは C 末端 TS-1 モチーフの数が異なり、中には独自の C 末端ドメインを持つものもあります。この遺伝子によってコードされる酵素は 8 つの TS-1 モチーフを含んでいます。胎児発育中の肺細胞や腫瘍形成過程において、タンパク質分解活性を介して、あるいは細胞接着の調節に関与する分子として、役割を果たしている可能性があります。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、補因子:サブユニットあたり 1 つの亜鉛イオンを結合します。、ドメイン:システインスイッチ モチーフに存在する保存されたシステインが触媒亜鉛イオンを結合し、酵素を阻害します。活性化ペプチドの放出時にシステインが亜鉛イオンから解離することで、酵素が活性化されます。、ドメイン:スパーサードメインと TSP タイプ 1 ドメインは、細胞外マトリックスとの緊密な相互作用に重要です。、PTM:細胞内成熟プロセスにかけられ、メタロプロテアーゼ、ディスインテグリン、1 つの TSP タイプ 1、Cys に富むドメインを含む 120 kDa の N 末端フラグメントと、スパーサー 2 と 4 つの TSP タイプ 1 ドメインを含む 83 kDa の C 末端フラグメントが生成されます。、PTM:前駆体は、フーリンエンドペプチダーゼによって切断されます。、類似性:1 つのディスインテグリンドメインを含みます。、類似性:1 つのペプチダーゼ M12B ドメインを含みます。、類似性:1 つの PLAC ドメインを含みます。、類似性:8 つの TSP タイプ 1 ドメインを含みます。、組織特異性:胎児の肺でのみ発現します。胃癌や多様な起源の癌細胞に広く発現しています。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。